

会社売却前の決算書チェックリスト

決算書のどこを見れば、会社の価値と、価値を下げている要因が分かるか

使い方：直近の決算書（貸借対照表・損益計算書・販管費内訳・勘定科目内訳明細書）を手元に置き、各項目を確認して□にチェックを入れてください。「確認できない」「分からない」項目は、そのまま売却準備の課題です。企業価値シミュレーター（tsugiya.jp/valuation）に数値を入れると、3手法の価格レンジで影響を確認できます。

A 損益計算書で確認すること

- ☐ **売上高の推移（3期）**
増加・横ばい・減少のどれか。減少傾向は営業権年数と倍率を下げる要因。理由を説明できるか。
- ☐ **営業利益と営業利益率**
業種平均と比べて高いか低いか。赤字なら原因が構造的か一時的か。
- ☐ **役員報酬の合計**
販管費内訳・役員給与内訳書で確認。承継後の適正水準との差額が正常収益力の調整になる。
- ☐ **減価償却費（原価＋販管費）**
2か所に分かれていることが多い。EBITDA＝営業利益＋減価償却費。
- ☐ **節税目的の保険料・私的経費**
承継後になくなる費用。金額を把握し、根拠資料を用意する。
- ☐ **親族・関連会社との取引**
家賃・外注費・給与が相場と乖離していないか。差額は調整対象。
- ☐ **一過性の損益**
補助金・固定資産売却益・特別損失など、毎年発生しないものを除く。
- ☐ **特定顧客への依存**
売上上位1社の比率。30%超はディスカウント要因。取引先別売上を整理しておく。

B 貸借対照表で確認すること

- ☐ **現金・預金と有利子負債**
ネットデット（借入－現預金）はそのまま株式価値から引かれる。返済で手取りが増える。
- ☐ **役員借入金**
社長からの貸付。返済が債権放棄かを決める必要がある。税務影響を税理士に確認。
- ☐ **売掛金の回収可能性**
長期滞留・回収不能があれば時価純資産で減額される。先に整理する。
- ☐ **在庫の実態**
滞留・不良在庫は減額される。実地棚卸で実態を把握。
- ☐ **土地・建物の含み損益**
簿価と時価（路線価・近隣取引）の差。含み益は時価純資産に加算される。
- ☐ **保険積立金の解約返戻金**
保険会社の証明で確認。簿価との差額を調整。

☐ **退職金規程と引当金**
株式会社tsugiya 企業価値・M&A仲介（全国対応） <https://tsugiya.jp/> | 本資料は一般的な実務に基づく整理であり、個別の評価・税務を保証するものではありません。
規程があるのに引当がなければ簿外債務として差し引かれる。要支給額を試算。

☐ **未払残業・社会保険**
労務リスクは簿外債務。就業規則・勤怠を確認。

C 数字以外で買い手が見ること

☐ **社長がいなくても回るか**
営業・技術・取引先との関係が社長個人に集中していないか。幹部への権限委譲の状況。

☐ **契約書の整備**
主要取引先との基本契約、賃貸借契約の譲渡条項、許認可の名義。

☐ **株主構成**
株主名簿の整備。名義株・所在不明株主・分散の有無。

☐ **設備の更新時期**
近く大きな修繕・更新が必要なら、その額は価格から引かれる。

チェックが終わったら

チェックできなかった項目、数字が悪かった項目が「価格を下げている要因」です。売却の1～3年前から手を付ければ、多くは改善できます。自社の数字で価格の目安を出し、何から準備すべきかを無料でご相談いただけます。売り急がせることはありません。

無料相談・企業価値シミュレーター：<https://tsugiya.jp/valuation/>